

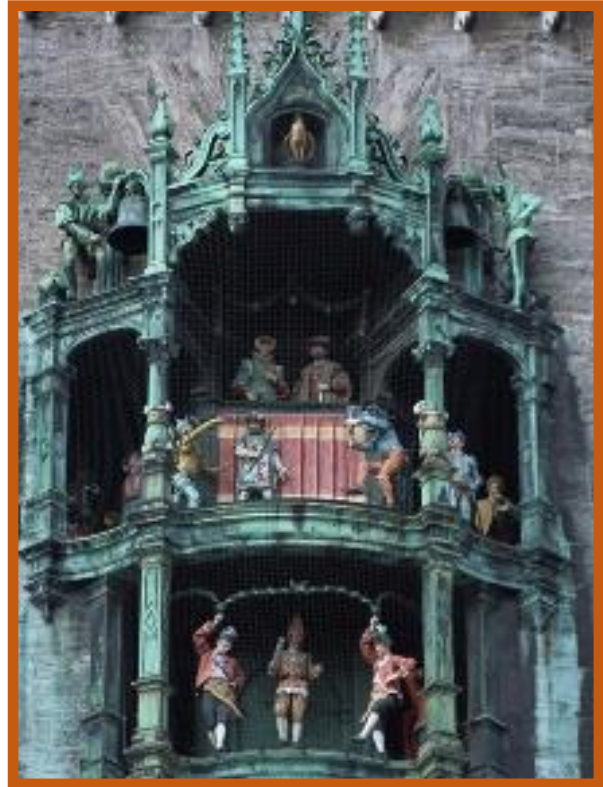
学校文化の創造

学習指導要領解説の特別活動編に、「学校文化」という用語が盛り込まれました。

一般的に「文化」といえば、「人類の理想を実現していく、精神的なもの」を指し、物理的なものについては「文明」と解されています。このことから、私は学校文化を次のように捉えています。

創意ある活動の継続によって培われた、学校の教育目標の実現に資する精神的な特色

自主・自律の精神、進取の気性、勤労・奉仕の精神、勤勉の徳、友愛の情といったもののほか、31・32号で取り上げた「もったいない、みっともない、申し訳ない」の「3ない」も、学校文化の一つです。



学校文化の創造は、子どもの人間形成に影響を及ぼすとともに、地域文化の創造にもつながります。「地域に開かれた教育課程」の観点から、子どもの自発的、自治的な活動を支援する具体策や、自校の実践を地域社会と共有したいものです。

なお、特別活動の全ての活動は、学校文化の創造に直接関わります。とりわけ、学級活動と児童・生徒会活動、学校行事とが、相互の関連の下に進められるよう、計画の段階や活動の場面での教師の適切な指導が必要です。

基礎

野球解説者 野村克也
基本とは技術だが、基礎とは技術習得の土台となる体と意思の強さである。基礎を作るためには「習慣的要素」による努力が不可欠である。

出典：野村克也著「野村克也の人生論 この一球」(海竜社)

※ 野村氏の現役時代の基礎作りの第一は、素振りであったそうです。